

## 授業の概要

全部床義歯技工学として学習した理論を基に、第1, 2学年で学んだ総義歯製作に必要な技術を基礎とする。その理論と基礎技術を基に、人工歯排列から歯肉形成まで完成させることを目標に、完成度の高い総義歯を製作する技術を身につける。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）
- 参考資料：プリント配布
- 授業時間：月・水・木・金曜日 18:50～21:15 火曜日 19:40～21:15
- オフィスアワー：今井 秀行 ([imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp](mailto:imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp))  
月～金曜日 16:00～17:30
- 成績評価：前・後期の実習製作物（100%）で評価し、フィードバックを行う。
- 注意事項：教科書，プリントを持参すること。
- 授業方法：実習形式，模型を用い実際の技工作業を行う。
- 準備学習：事前に教科書，プリントを読んで，授業内容の目的を理解しておくこと。
- 準備学習時間：実習時間の4分の1相当の時間を充てて予習をする。
- 実務経験：今井秀行：長崎大学病院で歯科技工士として臨床経験を積む。その経験を活かし，歯科技工士の立場から補綴装置の製法や，実際に総義歯を製作する作業工程，技術を教えていく。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第1回9月2日 今井 秀行 椎名 芳江 泊 進一 山岸 智光	講義 1. 人工歯排列 2. 歯肉形成 実習 1. 作業用模型設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯床を力学的に維持，安定させる人工歯，特に人工臼歯排列の基本的標識が歯槽頂線であることを理解する。</li> <li>・人工歯排列の基準線となる歯槽頂線の目的，意義を理解し作業用模型上に基準点を印，その基準点から，歯槽頂線を求め記入する術式を修得する。</li> </ul>
第2回9月3日 今井 秀行 他	実習 2. 既製の咬合床を作業用模型に圧接	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3組の咬合床を作業用模型上に圧接する術式を修得する。</li> </ul>
第3回9月4日 今井 秀行 他	実習 2. 既製の咬合床を作業用模型に圧接 3. 咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3組の咬合床を作業用模型上に圧接する術式を修得する。</li> <li>・平均的な顎間関係を想定した咬合器上に模型装着の術式を修得する。</li> </ul>

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第4回9月5日 今井 秀行 他	実習 3. 咬合器装着	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均的な顎間関係を想定した咬合器上に模型装着の術式を修得する。</li> </ul>
第5回9月9日 今井 秀行 他	実習 4. 人工歯排列 1) 上顎排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>上顎人工歯排列を行い、講評を受けた後に不備な箇所を修正し完成された排列の技術の修得をする。</li> </ul>
第6回9月10日 今井 秀行 他	実習 4. 人工歯排列 2) 下顎排列	<ul style="list-style-type: none"> <li>下顎人工歯排列を行い、講評を受けた後に不備な箇所を修正し完成された排列の技術の修得をする。</li> </ul>
第7回9月11日 今井 秀行 他	実習 5. 歯肉形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯肉形成を完成させ、講評を受けた後、不備な箇所を修正し、完成された歯肉形成が出来る技術の修得をする。</li> </ul>
第8回9月12日 今井 秀行 他	講義 2. ゴシックアーチ描記装置  実習 5. 歯肉形成 6. ゴシックアーチ描記装置	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴシックアーチ描記装置の目的および技工操作について修得する。</li> <li>ゴシックアーチ描記装置の目的および技工操作について修得する。</li> </ul>